

親子フィラーQグラウト施工用補助機材 <施工タイプ-1> スラスタ- 加圧充填方式

スラスタ- 押圧充填方式<タイプ1>は親子フィラーQタイプのグラウト標準施工方法です (株)構造工学研究所 (☎)03-5981-5621

弊社が提供する対応機材<タイプ1>は、以下の5点 (①~⑤) です。

1) 流動性試験用キットとして:

- ①フラットフロー板 <1枚>
- ②試験筒 <1個>
- ③水温計 <1本>

2) 充填用機材として:

- ④スラスタ-(50)又は(30) <2個>
- ⑤注入枠設置ガイド(50)又は(30) <8個>

● 共通機材



● 注入幅が50mmの場合(標準)



● 注入幅が30mmの場合(指定要)



※2)は標準施工として、ベースプレート端面と注入枠の間の寸法を50mmとしています。

注入幅を30mmとする場合は事前にご指定下さい。

※上記の注入幅を変更される場合は、見合うものを製作いたします。ご連絡ください。

※納品されるスラスタ-及び注入枠設置ガイドは、50mm用/30mm用のどちらか一方です。

下記の①~⑥は、別途、ご用意ください。 (0F-Qグラウトを作製するための機器)



① 電動攪拌機

- 800~1300rpmの能力が必要です。

② 攪拌用羽根 + シャフト

- 折返しの付いた羽根がベストです。
- 鋼製です(アルミニウム製は不可)



③ 攪拌用缶

- 20~25ℓの容量があると安心して施工ができます。
- 連続して注入を行う場合、予備の缶が複数あると施工が楽です。



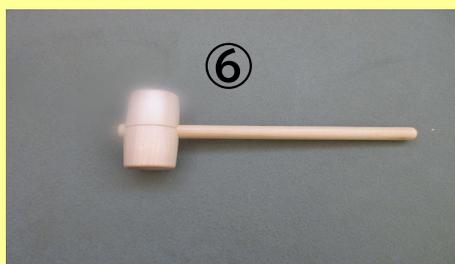
④ 混練水計量カップ・重量計

- 市販の計量カップで4.6ℓを1回で計量できるのものはありません。
- ※必要水量4.6ℓ=4.6kgなので、計量容器の重量を差し引いて、実水量を計測してください。



⑤ 時計(混練時間の計測)

- 混練時間は、120±10秒です。
- 長くても短くても不可



⑥ 木槌

- グラウト材注入時、注入枠を叩いてグラウト材に振動を与え、その流動性を促進させるために使用します。

※親子フィラーQグラウトの作製量は1袋(25kg)+水4.6ℓで約13ℓです。

※適用可能な機材をご用意ください。(仕様の詳細については、施工マニュアル参照)